

感染症週報 (市内週報 平成21年第10週)

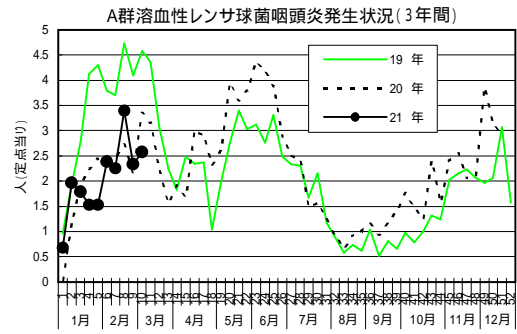
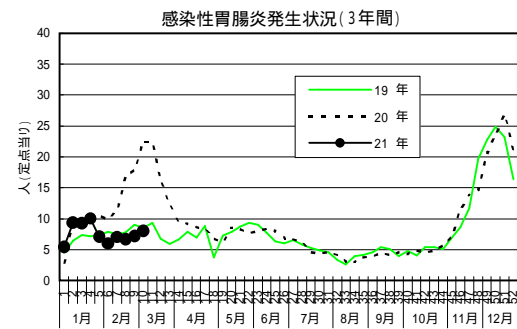
結核・感染症発生動向調査

平成21年3月10日

平成21年第10週感染症発生状況【川崎市内】

平成21年3月2日～平成21年3月8日

5類感染症(定点把握疾患)	全数把握疾患	届出	累計(平成21年第1週以降)
第10週で報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ、2)感染性胃腸炎、3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の順となっています。 4週連続で減少していたインフルエンザの報告数が増加し、流行発生注意報基準値(定点当たり10人)を再び超えました。高津区においては警報基準値(定点当たり30)を超える高いレベルにあります。インフルエンザの流行は、川崎北部地域を中心に地域的な流行が続いているため、発生動向にはしばらく注意が必要です。	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 6件	結核 58件
	3類感染症	なし	細菌性赤痢 2件 腸管出血性大腸菌感染症 1件
	4類感染症	なし	A型肝炎 1件 デング熱 1件
	5類感染症	なし	アメーバ赤痢 2件 急性脳炎 1件 後天性免疫不全症候群 2件 ジアルジア症 1件 麻しん 2件

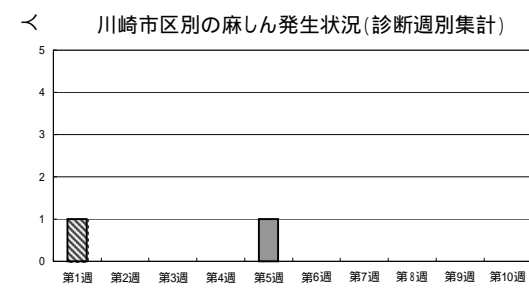
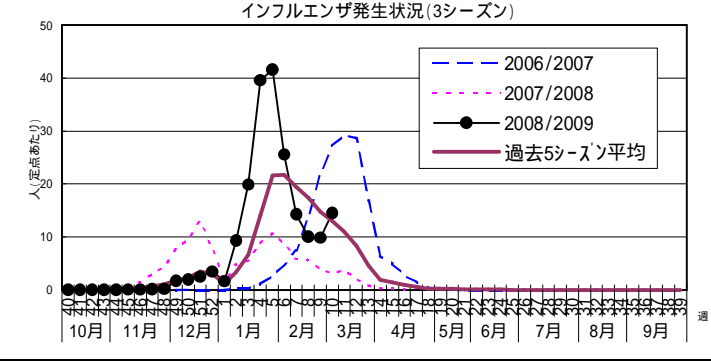


インフルエンザウイルス市内分離状況(累計はH20.10.1以降の累計)

期間	検体搬入数	検査結果				検査中
		陽性		陰性		
		Aソ連型	A香港型	B型		
3/2~3/8	5	2	0	4	0	8
累計	156	89	36	9	14	

インフルエンザ警報の基準:「定点あたり30」以上の都道府県(第9週) なし

インフルエンザ注意報の基準:「定点あたり10」以上の都道府県(第9週)
 青森県、岩手県、宮城県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県。



H21年麻しん年齢群別発生報告数(診断週で集計)

	10週	累計	10週	累計
0歳	0	0	10~14歳	0
1歳	0	1	15~19歳	0
2歳	0	1(1)	20~24歳	0
3歳	0	0	25~29歳	0
4歳	0	0	30~39歳	0
5歳	0	0	40~49歳	0
6~7歳	0	0	50歳以上	0
8~9歳	0	0		

()内の数字は予防接種歴有の人数

毎週感染症情報に掲載しているDWRの注目すべき感染症は掲載記事がないためお休みします。

